

社会資本総合整備計画

防災・安全交付金

令和05年06月05日

計画の名称	姫路市における循環のみち実現に向けた安全・防災対策（３）（防災・安全）													
計画の期間	令和０２年度　～　令和０６年度（5年間）										重点配分対象の該当			
交付対象	姫路市													
計画の目標	計画的に老朽施設の改築・更新を進めるとともに、地震対策及び浸水対策を実施することにより、安全・安心、快適な暮らしを実現し、良好な水環境を創造する。													
全体事業費（百万円）	合計（Ａ＋Ｂ＋Ｃ＋Ｄ）		21,557	A	21,557	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / （Ａ＋Ｂ＋Ｃ＋Ｄ）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R2当初	R4末	R6末
1	老朽施設のうち、令和2年度から令和6年度に改築・更新する7施設（（処理場）中部、東部、家島、上菅・筋野、（前処理場）高木川西、（ポンプ場）書写、西広畑）について、改築対応率を0.0%（R2）から100.0%（R6）に増加させる。 老朽施設の改築対応率 改築対応済み施設の数（施設） / R2年以降、5年間に改築が必要となる施設の数（施設）	0%	50%	100%
2	老朽管渠の管更生工事実施延長を9.9km（R2）から15.9km（R6）に増加させる。 老朽管渠の管更生工事実施済延長 管更生工事実施済み累計延長（km）	99（×0.1km）	129（×0.1km）	159（×0.1km）
3	耐震対策施設のうち、令和2年度から令和6年度に対策を実施する7施設（（処理場）中部、東部、家島、上菅・筋野、（前処理場）高木川西、（ポンプ場）書写、西広畑）について、耐震対応率を0.0%（R2）から100.0%（R6）に増加させる。 施設の耐震対応率 耐震対応済み施設の数（施設） / R2年以降、5年間に耐震対策を実施する施設の数（施設）	0%	50%	100%

備考等	個別施設計画を含む	○	国土強靱化を含む	○	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
下水道事業	A07-001	下水道	一般	姫路市	直接	姫路市	管渠（ 汚水）	改築	管渠改築事業（中部処理 区他）	更生工法 450～1500、マン ホールポンプ改築更新	姫路市						2,910		策定済
	A07-002	下水道	一般	姫路市	直接	姫路市	ポンプ 場	改築	ポンプ場改築事業（中部 処理区他）	ポンプ場改築更新	姫路市						3,970		策定済
	A07-003	下水道	一般	姫路市	直接	姫路市	ポンプ 場	新設	ポンプ場耐震化事業（中 部処理区他）	ポンプ場耐震化	姫路市						1,400		-
	A07-004	下水道	一般	姫路市	直接	姫路市	終末処 理場	改築	処理場改築事業（中部処 理区他）	終末処理場・前処理場改築更 新	姫路市						11,850		策定済
	A07-005	下水道	一般	姫路市	直接	姫路市	終末処 理場	新設	処理場耐震化事業（中部 処理区他）	終末処理場・前処理場耐震化	姫路市						820		-
A07-006	下水道	一般	姫路市	直接	個人	管渠（ 雨水）	新設	雨水貯留タンク設置助成 事業	貯留タンク設置	姫路市						4		-	

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
下水道事業	A07-007	下水道	一般	姫路市	直接	個人	管渠（ 雨水）	新設	雨水浸透ます設置助成事業	浸透ます設置	姫路市						3		-
	A07-008	下水道	一般	姫路市	直接	姫路市	管渠（ 汚水）	改築	ストックマネジメント計画策定事業	ストックマネジメント計画策定・点検調査	姫路市						600		策定済
											小計						21,557		
											合計						21,557		

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	R02	R03	R04	R05	R06
配分額 (a)	1,292	949	784	1,041	1,109
計画別流用増 減額 (b)	0	0	0	0	0
交付額 (c=a+b)	1,292	949	784	1,041	1,109
前年度からの繰越額 (d)	0	822	791	766	927
支払済額 (e)	470	980	809	880	1,154
翌年度繰越額 (f)	822	791	766	927	882
うち未契約繰越額(g)	97	190	429	213	501
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	0	0	0
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d)) %	7.5	10.72	27.23	11.78	24.6
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由		関係機関との調整に時間を要したため。	関係機関との調整に時間を要したため。	関係機関との調整に時間を要したため。	関係機関との調整に時間を要したため。

## 事前評価チェックシート

計画の名称： 姫路市における循環のみち実現に向けた安全・防災対策（３）（防災・安全）

事前評価		チェック欄
Ⅰ．目標の妥当性		
上位計画等との整合性	１）上位計画（流総計画、都市計画、公害防止計画等）との整合性が確保されている。	○
Ⅰ．目標の妥当性		
上位計画等との整合性	２）下水道の諸計画（流域下水道事業計画、公共下水道事業計画、ストックマネジメント計画等）との整合性が確保されている。	○
Ⅰ．目標の妥当性		
上位計画等との整合性	３）関連する諸計画（総合計画、生活排水処理計画等）との整合性が確保されている。	○
Ⅰ．目標の妥当性		
地域の課題への対応	１）地域の課題を踏まえて目標が設定されている。	○
Ⅰ．目標の妥当性		
地域の課題への対応	２）必要性という観点から事業内容、整備箇所の位置づけが高い。	○
Ⅱ．計画の効果・効率性		
整備計画の効果及び効率性	１）目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
Ⅱ．計画の効果・効率性		
定量的指標の明瞭性	１）指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
Ⅱ．計画の効果・効率性		
目標と事業内容の整合性	１）指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
Ⅱ．計画の効果・効率性		
目標と事業内容の整合性	２）目標及び事業内容と計画区域等との整合性が確保されている。	○
Ⅱ．計画の効果・効率性		
事業の効果	１）十分な事業効果が確認されている。	○
Ⅱ．計画の効果・効率性		
事業の効果	２）事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
Ⅲ．計画の実現可能性		
円滑な事業執行の環境	１）計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○
Ⅲ．計画の実現可能性		
円滑な事業執行の環境	２）関連する関係機関等の調整が、図られている。	○
Ⅲ．計画の実現可能性		
地元の機運	１）事業実施に向けた機運がある。	○
Ⅲ．計画の実現可能性		
地元の機運	２）計画について住民等との間で合意が形成されている。	○

(参考図面)

